

池田勝亮歌碑

(いけだかつすけかひ)



【所在】

鷹栖町 14 線 3 号
(北野神社境内)

【歌碑建立】

昭和 51 年

農村文化の伝達者 池田勝亮

池田勝亮は、大正 3 年に空知郡歌志内村に生まれ、父の移住で鷹栖村北野尋常高等小学校を卒業、旭川商業高等学校を卒業、在学中より短歌に優れた素質を見せ、「香蘭」などに作品を発表していたが、このころより結核におかされ療養生活を送りながら、ささやかな歌誌「飛鳥」を刊行するなどしていた。

昭和 21 年、歌誌「あさひね」を創刊に加わり編集長を担当し、昭和 23 年 8 月、農村に農協が誕生し、農村青年たちのため、農村文化誌「新郷土」を関係団体有志の協力を得て創刊、積極的に農村に夢を、問題を自ら解決する啓発を続けた。

その間、鷹栖村の大谷作太郎の娘と結婚し長男を授かったが、その後、病状が再発、再び悪化、昭和 25 年 12 月 22 日、大量の吐血をして衰弱し、36 歳で帰らぬ人となった。

彼の死によって「新郷土」は 24 号で終刊となったが、この 2 力年の「新郷土」刊行は、上川各地の農村青年に大きな自信と啓発を与えたのである。

この神社は祭神に学問の神菅原道直公を祀り、この碑も秋風句碑もともに一層の趣を増し、麗しき神苑となっている。